

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公開番号】 特開 2005-253092 (P2005-253092A)
 【公開日】 平成 17 年 9 月 15 日 (2005.9.15)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-036
 【出願番号】 特願 2005-64631 (P2005-64631)
 【国際特許分類】

H O 4 N 7/32 (2006.01)

H O 3 M 7/36 (2006.01)

H O 4 N 7/30 (2006.01)

【F I】

H O 4 N 7/137 Z

H O 3 M 7/36

H O 4 N 7/133 Z

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 4 月 14 日 (2006.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソース符号化ストリームを変換処理した符号化ストリームを記録媒体から再生する再生装置において、

前記記録媒体から、前記符号化ストリームに対する過去の符号化処理または復号処理において利用された履歴符号化パラメータ及び前記履歴符号化パラメータの選択的な組み合わせを識別する識別情報を、前記符号化ストリームとともに取得する取得手段と、

前記取得手段により取得された前記識別情報を参照して、前記取得手段により取得された前記履歴符号化パラメータの中から、変換処理において再利用する履歴符号化パラメータを再利用符号化パラメータとして選択する選択手段と、

前記選択手段により選択された前記再利用符号化パラメータを再利用して、前記符号化ストリームを再符号化ストリームに変換処理する変換手段と、

を備える再生装置。

【請求項 2】

前記符号化ストリームと前記履歴符号化パラメータとは、前記記録媒体の異なる領域に記録されている

請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 3】

前記記録媒体は磁気テープであり、

前記符号化ストリームはシンクコードに近い位置に記録されており、前記履歴符号化パラメータは前記シンクコードから前記符号化ストリームの記録位置より離れた位置に記録されている

請求項 2 に記載の再生装置。

【請求項 4】

前記選択手段は、前記履歴符号化パラメータに含まれるピクチャタイプが変換処理に用いるピクチャタイプと一致した場合のみ、前記履歴符号化パラメータを前記再利用符号

化パラメータとして選択する

請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 5】

現在の符号化パラメータを算出する符号化パラメータ算出手段を更に備え、

前記選択手段は、前記履歴符号化パラメータを前記再利用符号化パラメータとして選択しない場合、前記符号化パラメータ算出手段により算出された前記現在の符号化パラメータを、変換処理に利用する前記再利用符号化パラメータとして選択する

請求項 4 に記載の再生装置。

【請求項 6】

前記変換手段により変換された前記再符号化ストリームを出力する出力手段を更に備える請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 7】

前記識別情報は、前記変換手段の変換処理による画質劣化の程度に応じて区別されている情報である

請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 8】

前記識別情報は、前記符号化ストリームが伝送される伝送路、又は、前記符号化ストリームを記録する記録媒体の容量に応じて区別されている情報である

請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 9】

前記選択手段により選択された前記再利用符号化パラメータおよび前記履歴符号化パラメータのうちのいずれかを、前記変換手段により変換された前記再符号化ストリームとともに出力する出力手段

を更に備える請求項 5 に記載の再生装置。

【請求項 10】

前記変換手段は、前記選択手段により選択された前記再利用符号化パラメータ及び前記履歴符号化パラメータのうちのいずれかを、前記再符号化ストリームに記述する

請求項 9 に記載の再生装置。

【請求項 11】

前記履歴符号化パラメータ及び前記現在の符号化パラメータから前記再利用符号化パラメータを除いた符号化パラメータを含む符号化履歴情報を生成する生成手段と、

前記生成手段により生成された前記符号化履歴情報又は前記再利用符号化パラメータを、前記変換手段により変換された前記再符号化ストリームとともに出力する出力手段とを更に備える請求項 5 に記載の再生装置。

【請求項 12】

前記変換手段は、シーケンスレイヤ、GOPレイヤ、ピクチャレイヤ、スライスレイヤ、および、マクロブロックレイヤを有するMPEG方式で変換処理を行い、前記生成手段により生成された前記符号化履歴情報を、history_stream()表されるシンタクスとして前記再符号化ストリームに記述する

請求項 11 に記載の再生装置。

【請求項 13】

前記識別情報は、前記履歴符号化パラメータの全てを取得するか、前記履歴符号化パラメータのうちの一部を取得するかを識別する第1の識別情報と、前記履歴符号化パラメータのうちの一部を取得する前記履歴符号化パラメータの組み合わせを識別する第2の識別情報と

を含む請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 14】

前記選択手段は、前記識別情報に含まれる前記第1の識別情報及び前記第2の識別情報を参照して、前記履歴符号化パラメータの中から、前記再利用履歴符号化パラメータを選択する

請求項 13 に記載の再生装置。

【請求項 15】

前記変換手段は、シーケンスレイヤ、GOPレイヤ、ピクチャレイヤ、スライスレイヤ、および、マクロブロックレイヤを有するMPEG方式で変換処理を行い、前記第1の識別情報及び前記第2の識別情報を、red_bw_flag及びred_bw_indicatorで表される記述子として前記再符号化ストリームに記述する

請求項 13 に記載の再生装置。

【請求項 16】

前記変換手段は、ビットレート又はGOP構造を変更するように変換処理を行う

請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 17】

前記変換手段は、シーケンスレイヤ、GOPレイヤ、ピクチャレイヤ、スライスレイヤ、および、マクロブロックレイヤを有するMPEG方式で変換処理を行う

請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 18】

前記履歴符号化パラメータは、前記符号化ストリームに対する過去複数世代の符号化パラメータである

請求項 1 に記載の再生装置。

【請求項 19】

前記履歴符号化パラメータは、前記符号化ストリームに対する直近過去4世代分の符号化パラメータである

請求項 18 に記載の再生装置。

【請求項 20】

ソース符号化ストリームを変換処理した符号化ストリームを記録媒体から再生する再生方法において、

前記記録媒体から、前記符号化ストリームに対する過去の符号化処理または復号処理において利用された履歴符号化パラメータ及び前記履歴符号化パラメータの選択的な組み合わせを識別する識別情報を、前記符号化ストリームとともに取得する取得ステップと、

前記取得手段により取得された前記識別情報を参照して、前記取得手段により取得された前記履歴符号化パラメータの中から、変換処理において再利用する履歴符号化パラメータを再利用符号化パラメータとして選択する選択ステップと、

前記選択手段により選択された前記再利用符号化パラメータを再利用して、前記符号化ストリームを再符号化ストリームに変換処理する変換ステップと
を備える再生方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】再生装置及び方法